



横手市議会だより

あなたと市議会



バトンをつなぐ

ありがとう 十文字第一小学校

Y8 サミット創快 横手市議会

7.28 中学生と議員の作戦会議



「僕たちの思いを市長に届けよう」とするこの取り組みは、夏のあの暑い日から始まった！

横手北中

横手愛プロジェクトの取り組みに注目し、ポスターなどの既存のPR方法に加え、新たにポイントカードの発行について提案します

萩原 優 高橋泰生 菊地彩愛

増田中

県外への若者の流出を止め、県外に出た人が帰ってくるように、移住者呼び込み『Yターン』政策と、子育て応援アプリの作成を提案します

佐藤大耀 高橋 鈴 鈴木暁紀

11.19 議会本番



中学生たちが横手市の課題を解決するためのアイデアを市長へ提案しました

議長役がんばります！

どの提案も素晴らしいですね！すぐに取り組めるものもあるので、しっかりと検討します！

十文字中

地域交流や活性化につなげるため、市内小中学校の活動について、横手市のホームページや市報を利用して情報発信することを提案します

川口桜加 織田怜依 小國実咲 水溜結子 佐藤千寛 松村慶斗

横手南中

新規就農を考えている人向けのセミナー開催や農機具の貸し出しなど、横手の農業をサポートする農業支援組織の設立を提案します

この取り組みを来年度につなげるため、12月には、議員と一緒に振り返りをしたよ！

横手清陵学院中

市が行っている政策をSDGsのターゲットと結びつけたり、市内企業とコラボするなど、SDGsを意識したまちづくりを提案します

平鹿中

農家の高齢化と、若者の転出・減少による農業労働力の不足などの課題を解決するため、スマート農業の導入促進を提案します

横手明峰中

シニア世代と小中学生が、休日の校舎を活用して交流を深めながら共に学び合う、『築校郷育（がっこうきょういく）』プランを提案します

秋田県横手市議会

私たちの提案、しっかり受け止めてね！ 私たちの経験を生かして後輩たちも頑張るぞ！！

To be continued!

伊藤駿介 谷川東霸 高橋胡如 長澤 亮 清水和奏 小松航大 江村一真 藤原光翼 佐藤心音



指定管理が継続されることになった「ユウ・ホップハウス」

厚生常任委員会

福祉施設の安心安全な運営は 引き続き市の責務で

横手市議会ホームページ厚生常任委員会のページがご覧いただけます。



問 継続性を重要視するとなれば、そのまま同じ法人が更新されることになる。市は、指定管理の意味や、メリット・デメリットを全く理解していないと感じるが。

答 今後、この施設は譲渡の方向で考えている。3年間の指定管理期間内に譲渡に向けて進めたい。ここで公募すること、指定管理者が変わることは利用者にとって不利益と判断した。

問 継続性を重要視するとなれば、そのまま同じ法人が更新されることになる。市は、指定管理の意味や、メリット・デメリットを全く理解していないと感じるが。

答 今後、この施設は譲渡の方向で考えている。3年間の指定管理期間内に譲渡に向けて進めたい。ここで公募すること、指定管理者が変わることは利用者にとって不利益と判断した。

問 公の施設の指定管理者の指定について（障害者支援施設「大和更生園」「ユウ・ホップハウス」、障害者グループホーム「やがしわ」「かみたむら」）

答 事業運営の継続性を重要視した。入所者が毎日顔を合わせる支援員が突然変わると影響を及ぼす恐れもあるため、継続したサービスが必要と判断し、非公募での選定とした。

非公募での指定管理者選定は適正？

問 施設には他市町村の方も入所していると思うがスムーズに対応できるのか。

答 県が他市町村と連絡を取りながら、案件ごとに会議を開き対応している。

問 譲渡する際、建物は現状のまま引き渡すのか。

答 現状のままでの譲渡と考えている。今後修繕を行う場合、法人の意向に応じ、国・県の補助制度を活用していく。

問 譲渡後も問題なく運営できるのか？

答 県南愛児園設置条例を廃止する条例◆財産の無償譲渡（県南愛児園「ドリームハウス」）

議論 賛成 「施設の指定管理は公募が基本と思う。終了時期が決まっていたにも関わらず十分な情報提供や協議がされず、当局で一方的に非公募と決定されたことは非常に遺憾だ。しかし、質疑を通して、現状の指定管理が十分に行われていることは分かった。もし、この指定管理が行われなかった場合の入所者の不利益を考えると現実的ではないと考える。」

問 PCR検査の感度は40%まで下がってしまう可能性があり、感染していないのに陽性判定が出た場合には当事者に大きな負担がかかる。加えて、偽陰性の場合もあり、検査で陰性となったことで安心してしまつことが最も懸念される。

問 PCR検査の感度は40%まで下がってしまう可能性があり、感染していないのに陽性判定が出た場合には当事者に大きな負担がかかる。加えて、偽陰性の場合もあり、検査で陰性となったことで安心してしまつことが最も懸念される。

問 PCR検査の対象者拡大は可能か？

答 補助事業の趣旨から、独自で全くの無症状者を検査することは難しい。

厚生常任委員 立身万千子・本間利博・佐藤忠久・齋藤光司・佐藤誠洋・寿松木 孝・高橋聖悟・山形健二

賛否が分かれた議案と審議結果

・この他の議案は全員賛成により可決されました。
○：賛成 ●：反対 退：退席 ※播磨博一議長は採決に加わりません。

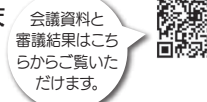
| 案件名 | 議決結果 | | | |
|---|------|----|-----|-----|
| | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める陳情 | 23 | 0 | 4 | 4 |
| 「核兵器禁止条約」発効へ、ただちに条約の署名・批准を実施するよう意見書提出を求める陳情 | 23 | 0 | 4 | 4 |
| 公の施設の指定管理者の指定について（横手市障害者支援施設大和更生園、横手市障害者支援施設ユウ・ホップハウス、横手市障害者グループホーム「やがしわ」、横手市障害者グループホーム「かみたむら」） | 23 | 0 | 4 | 4 |
| 市民の会 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 新風の会 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 市民の会 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| さきがけ | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 新政会 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 日本共産党 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 公明党 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| みらい | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |
| 新緑会 | 賛成 | 反対 | 不採択 | 不採択 |

10月臨時議会の概要

10月28日、新型コロナウイルス感染症対策に関連する補正予算を審査するため、臨時議会が開かれました。

市内各保育所における感染症防止のための備品購入、「横手市帰国者・接触者外来（仮設診療所）」の設置期間を延長、秋田県プレミアム宿泊券事業延長への対応、小学校トイレ洋式化事業について審査し、いずれも全会一致により可決しました。

12月定例議会は11月30日から12月16日まで
の日程で開催され、市民生活に密着するさまざまな議案について、各常任委員会に
分かれて詳細な審査を行いました。(P.5~P.7)



議案Pick Up

- 市立保育園の民営化
公立保育所民営化計画に基づき、4月1日より、川西保育所と十文字保育所が民営化されます。
- 公の施設の指定管理
・障害者支援施設「大和更生園」「ユウ・ホップハウス」、障害者グループホーム「やがしわ」「かみたむら」の指定管理期間終了に伴い、現在の運営法人が非公募にて指定管理者に指定されました。
・「横手体育館」「横手武道館」の指定管理期間終了に伴い、引き続き市体育協会が、非公募にて指定管理者に指定されました。
- 空き公共施設の利活用
旧金沢中学校を無償・減額貸し付けしていた企業から撤退の申し入れを受け、新たな利活用者の公募を行った結果、3月1日より、ナメコなどを生産する地元企業への貸し付けが決まりました。
- 人事
・伊藤孝俊氏の教育長の再任に同意しました。
・大嶋秀夫氏の公平委員の再任に同意しました。

陳情の審査結果

- 採択
○安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情（秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基氏）
○「新型コロナ対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情（秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美氏）
○「新型コロナウィルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情（秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美氏）
- 不採択
○「核兵器禁止条約」発効へ、ただちに条約の署名・批准を実施するよう意見書提出を求める陳情（新日本婦人の会横手支部支部長 高階 泰子氏）
○唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める陳情について（平和・民主・革新の日本をめざす横手市の会 〈横手市革新懇〉代表世話人 小野 則夫氏）

お知らせ
請願（陳情）の提出期限が変更になります
 3月議会から、議会開会10日前の午後5時までに提出された請願（陳情）を、その定例会で審査します。
 請願・陳情についてはこちらをご覧ください。

審査するための時間を十分に確保し、議事の充実を図ります！



所管事務調査で
旧金沢中学校を視察

総務文教常任委員会

公の施設の維持・指定管理に しっかりとした方向性を

横手市議会ホームページ総務文教常任委員会
のページがご覧いただけます。



◆ 安心して使っていたいただけるのか？

問 財産の無償貸付け及び減額貸付けについて（旧金沢中学校）

答 現状のまま貸し付けし、補修は借り主の負担で行うことを要綱に明示している。できるだけ補修して長く利用していただきたいが、活用できなくなった場合は解体することも想定している。

問 契約期間中は安全だと言えない状態で民間に貸し付けることに疑問を感じる。台風や大雪、地震等の自然災害にも耐え得るかの診断は行っているのか。

答 建物の診断は行っていないが、耐震基準は満たしており、すぐに危険な状態になるとは考えにくい。万が一、建物が災害等にあった際には市側の保険が適用となる。

問 いつまで利用可能か期限を設けずに貸し続けることは無責任では。

答 借り主には現状に納得した上で利用していただく。期限を設けるためには、利活用者の募集の段階で周知する必要があるため、今後の課題としたい。

◆ 非公募の指定管理者更新は安易では？

問 公の施設の指定管理者の指定について（横手体育館・横手武道館）

答 非公募で契約を更新するので認めしてほしいという方は安易ではないが、過去には、管理できなくなったことから契約途中でやめた例もあったが、横手市指定管理者制度に関する運用指針で、公の施設の目的、規模、機能等を考慮した結果、特定の団体に管理を行わせることが特に必要であると認められるときは、公募によらず選定できるとしている。

問 今回の件は、管理者が変わるとサービスの継続性が保てなくなるほか、この団体は市内で唯一の体育関係の統括団体であり、行政との連携も取りやすい。さらには、自主事業の展開による利用者ならびに収入の増加、利用者の声を反映した柔軟な運営という実績があるため、非公募とした。

問 指定管理者制度の在り方について、どのように考えているのか。

答 民間ノウハウの導入により、財政負担の圧縮やサービスの向上を図ろうとするものである。

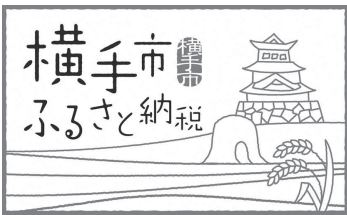
◆ ふるさと納税増加への取り組みは？

問 ふるさと納税について、国の通達で寄附額に対する経費の総額が50%を超えてはならないとなっているが、今回の補正予算では歳入に対する歳出の割合が57%になっているのはなぜか。

答 集りもり需要の影響からか10月末時点の寄附額は前年比約148%となっているほか、年末は最も寄附額が増える時期でもあり、返礼品の発送に不足が生じないよう予算措置した。寄附金受領証の発行等、経費として計上しないものもある。最終的には経費の総額が50%以下となるよう運営している。

問 返礼品の返礼割合を上限まで上げ、ふるさと納税増加への取り組みは？

答 ふるさと納税サイト運営事業者への手数料見直しなど経費削減に努め、その分を返礼品に充てる努力をしていきたい。



ふるさと納税の増加は、市内事業者・生産者の収入増加にもつながります

総務文教常任委員 青山 豊・菅原亀代嗣・奥山豊和・佐藤清春・佐々木喜一・土田百合子・大日向香輝・小野正伸

産業建設常任委員会

新型コロナに負けないように 中小企業への経営支援を

横手市議会ホームページ産業建設常任委員会
のページがご覧いただけます。



活発な委員会審査の様子

◆ 一般会計補正予算(第1号)

問 中小企業経営安定化基金積立金は、今回新たに創設される基金だが、国や県からの指示があつて創設されるものか。

答 横手市独自に創設するものだ。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方として認められており、横手市として利子補給を行うための財源とする。

◆ 横手市中小企業経営安定化基金条例

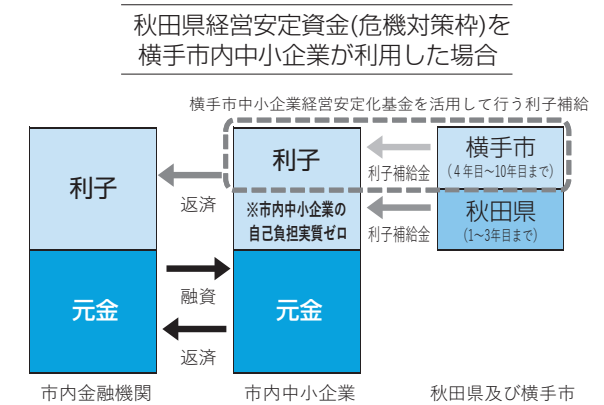
問 この基金は、どのように使われるのか。

答 秋田県の中小企業融資制度経営安定資金では、新型コロナウイルスの影響を受けている中小企業者に対して3年間無利子で融資を行う。この基金は、その融資無利子期間が終了した4年目以降も横手市独自で利子補給等を行い、中小企業を支援していくための財源とする。後年度における一般財源からの支出を軽減するため、国の交付金を活用し基金に積み立て、利子補給等の財源として使っていく。

◆ 一般会計補正予算(第1号)

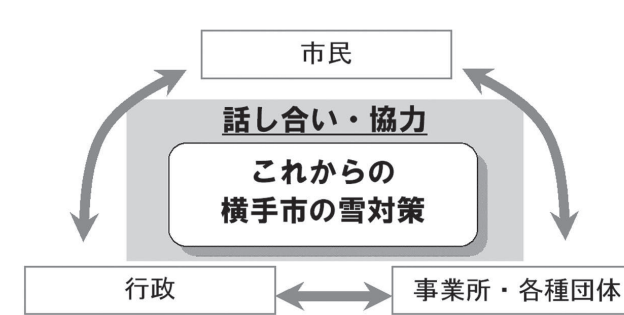
問 橋りょう補修工事において、塗料から鉛が検出されたために環境対策費などを増額したとのことだが、同じ年代に建設されたものにも同じように鉛が含まれているのか。

答 造られた年代が要因とは限らないと思われる。今回は、念のために塗料を検査したところ鉛が検出されたものだ。今後は、詳細設計の段階で調べる必要があると考えている。



◆ 雪に強い横手市にするために皆さんのご意見を生かしていきます

横手市では、令和3年度からスタートする第3期横手市総合雪対策基本計画を策定中です。計画の策定に当たっては、議会報告会・意見交換会で皆さんから聴きたいご意見も反映させられるよう、議会も一体になって計画策定に協力し、より地域の結束力を高め、市民みんなの力で雪に強い横手市をつくりあげていけるように努めていきます。



産業建設常任委員 加藤勝義・鈴木勝雄・木村清貴・遠藤忠裕・高橋和樹・菅原正志・菅原恵悦・塩田 勉



菅原正志 議員
すがわら ただし



Q 地区交流センター化への新たな切り口は

A 参画意識の醸成を図り進める

問 未実施地区においては、地区会議や公民館などの区割りにとらわれない考え方も必要では。

答 地域特性を考慮し、対話を重ね、主体性や参画意識の醸成を図りながら進めていきたい。

問 運営協議委員会として、10代にも参画してもらってはどうか。

答 現在は20代以上で構成されているが、学生などの若い世代には、関係のあるテーマに参画いただくところからスタートしたい。

問 委員に手当を支給すれば、取り組みの質が向上するのでは。

答 今後は、何らかの形で謝意を表すことを検討したい。

● 中小学校のトイレの洋式化は

問 洋式化率の低い学校に今後どのように整備していくのか。

答 全国水準以上の洋式化率を目標に、大規模改修時の整備を含め、計画的な整備を進める。



地区交流センター化した金沢地区の事業「金沢伝統芸能フェスタ」

● 魅力ある図書館運営は

問 図書購入費減額の中、どのように魅力を創出しているのか。

答 ニーズに合った図書の選定に努めている。また、大人のためのおはなし会の開催など、読書に親しんでもらう工夫をしている。

● バasketボールチームの支援

問 プレステージ・インターナショナル女子バスケットボール部が、来季からWリーグに参戦する。市として支援は考えているか。

答 地域のチームと関わってもらえるよう努力する。



加藤勝義 議員
かとう かつよし



Q ポケベル電波を利用した防災行政無線を

A 有効な伝達手段だが、情報収集に努める

問 これまで、防災行政無線の必要性を提案してきたが、デジタルに移行しないで廃止するとしている。情報通信技術が日々進化し、さらに低廉化している中で280MHz同報無線（ポケベル電波）を利用した、横手市全域への防災行政無線を提案する。

答 提案のあった280MHz同報無線も、有効な伝達手段だが、全国的な先進事例や、今後新たに開発されるシステムなどの情報収集に努めていく。



今後廃止される防災行政無線

問 現在の防災行政無線を更新しない理由が財源ならば、デジタルに移行する際に、国から7割の地方財政措置制度もあった。今年度で終了する事業だが、市として情報収集を逃したのではないか。また合併により広域となり、整備に多くの予算がかかるのであれば、合併特例債を利用すべきではないか。

答 現在の防災行政無線を更新しない理由が財源ならば、デジタルに移行する際に、国から7割の地方財政措置制度もあった。今年度で終了する事業だが、市として情報収集を逃したのではないか。また合併により広域となり、整備に多くの予算がかかるのであれば、合併特例債を利用すべきではないか。

問 廃止する防災行政無線の代替とされている防災ラジオを全戸貸与しないのは、以前に有償で取得した市民がいるからか。

答 そのこともネックになっている。現時点では対象者以外への貸与は考えていない。

問 事業者からの休業手当を受け取っていない非正規労働者に対し、国の制度の周知徹底を。

答 派遣社員も含め、申請できることを広く知らせていく。

問 市出身学生を支援するため、食料品の仕送り策を検討しては。

答 地元の特産品を送る事業の実施を指示しており、年内に申請を受け付けできるよう準備を進める。

● 災害時要支援者名簿の作成は

問 個人情報取り扱いが課題だが、地域固有の難しさがある。社会福祉協議会と市担当課の連携強化が重要と考えるがどうか。

答 社会福祉協議会や地域の団体などの協力を得て名簿を整備している。災害時のみならず、平時からの見守り活動にも名簿を活用していただきたい。

● 公共施設の使用料について

問 合併後15年目で生涯学習団体の

問 ハローワークと連携し対象者に周知する

A 非正規労働者に休業支援金の申請支援を

ハローワークと連携し対象者に周知する

問 合併後15年目で生涯学習団体の

答 施設使用団体の形態を再分類し、市の共通ルールとして9月から規則を運用した。今後、さらに活動内容を詳しく聴き、より丁寧な説明を心がけていく。改正が必要と判断される場合、使用料の見直しの時期に修正したい。



子ども食堂も生涯学習として支援すべき



寿松木 孝 議員
すずまき こう



Q 温泉施設の今後の方向性は

A 市民、議員との意見交換を重ねる

問 6月議会です宮温泉施設の今後の方向性について「民間シフト

問 6月議会です宮温泉施設の今後の方向性について「民間シフト



市に返還された温泉2施設 (さわらび・ゆーらく)



高橋和樹 議員
たかはし かずき



Q ラジオを使用した災害情報発信の周知は

A 市民に対して丁寧な周知説明したい

問 令和4年1月に廃止となる防災行政無線の代わりになる緊急割込放送は、一般のラジオでも受信できる。市民に対し丁寧な周知と、一部受信状態の悪いご家庭での受信試験やアンテナの設置、利用方法の説明を実施すべきでは。

答 全市を挙げて、まだご理解いただいてない方も含め、再度周知したい。電波の弱いご家庭には個々に足を運んで対応したい。

問 災害時の情報発信が脆弱であってはならない。緊急割込放送システムで回線が遮断された場合でも機能できるように、改善の必要があると思うが。

答 横手かまくらFMから本庁舎のアンテナ間のラインは電話回線だけであり、大規模地震の際などは緊急割込放送が遮断される可能性がある。調査の上回答したい。

問 災害時、公用車や公共施設、



防災時はラジオでの情報収集が重要

問 避難所等への燃料の優先供給や調達について、有事の際に最低限必要な燃料の種類や数量を把握しマニュアル化すべきと考えるが。

答 最低限の必要数は精査していない。また、災害応援協定を結んでいる事業所が必ずしも市が必要とする燃料を全て賄えるとは考えにくい。バルク供給のLPガスは仙台から市内の充填所まで最低半日を要すると想定している。

■その他の質問
・第3期横手市総合雪対策基本計画の策定について



土田百合子 議員
つちだ ゆりこ



Q 市税等のコンビニ納付とスマホアプリ導入を

A 令和3年4月からスタートする

問 市税等納付のデジタル化は。

答 スマホアプリを使っている納付のほか、全国のコンビニ、東北地方の各郵便局でも納付できるようになる。

今後、市のホームページや、市報の4月1日号に概略を掲載する。

また、5月から順次発送する納税通知書等に、コンビニ、スマホアプリでの納付方法を記載したチラシを同封しお知らせする。公共料金納付のキャッシュレス化については、取り扱いが可能と判断できる

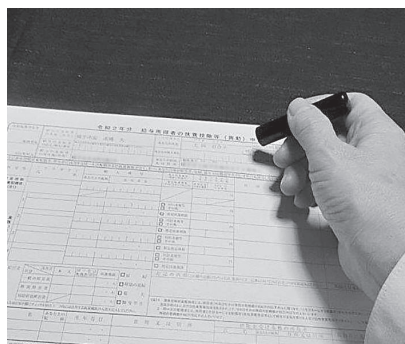
ところから拡大していきたい。

問 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しを。

答 市民の利便性の向上につながるものと考え、積極的に進める。準備が整ったものから順に取り組んでいく。

問 コロナ禍において、必要最低限のオンライン診療を進めてほしい。

答 コロナ禍において、必要最低限のオンライン診療を進めてほしい。



押印廃止でスムーズな行政手続きを

■その他の質問
・横手市子ども家庭総合支援拠点における相談体制や人材確保などの取り組み、子育て支援拠点の相談所の改善について

問 市は、地域課題解決に向けた住民と行政の協働による地域づくり体制を確立することを目指し、公民館の地区交流センター化に取り組んでいる。現場の最前線で、市民協働の要となる地域局の役割は。

答 住民との対話を通じ地区交流センター化への理解を深め、住民主体で課題解決を目指す自主運営組織の形成支援に取り組んでいる。

問 市民協働のまちづくりを進めていく上で、地域のことは地域でできるよう行政機能を強化し、地域局が予算と権限を持ち合わせることが必要だ。権限がないことで地域の独自性が失われ、全市民的な事業でなければ予算がつかず切り捨てられている。地域を平準化することが、市長の考える「均衡ある発展」だったのか。

答 予算の面で厳しいが、叱咤激励と受け止めて対応を考えていく。

問 予算の面で厳しいが、叱咤激励と受け止めて対応を考えていく。

問 地域要望の多い、身近な生活インフラの更新について

答 市が管理する1249橋を対象に長寿命化計画を策定し、今後50年で53億円の事業費を見込んでいく。幹線市道は5年で調査し、舗装修繕計画を策定する。

問 対象となる市道500kmは、総延長の4分の1弱だ。残りの道路修繕はどう対応していくのか。

答 生活道路は、これまで通り地域局からの要望を踏まえ予算に合わせ補修をしていきたい。



老朽化の進む生活インフラの更新には今後莫大な予算が必要



本間利博 議員
ほんま としまさ



Q 市が想定する新型コロナウイルスの有事とは

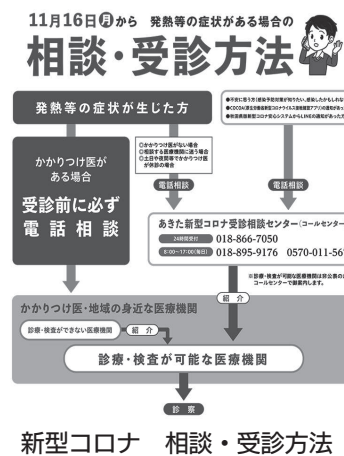
A 特にクラスター発生の場合などを想定

問 新型コロナウイルス対策本部の体制と対処方針はどうなっているか。

答 市長が本部長、危機管理課と健康推進課が事務局を務め、全庁を挙げて取り組んでいる。基本的な感染症対策の徹底や対応フローの作成を行い、コロナ禍における自然災害の避難所運営マニュアルを策定した。避難所に必要な物品の配備を進め有事に備えたい。

問 高齢者や基礎疾患を持つ家族がいる方や、無症状だが感染が心配される方の相談・受診・検査は。

答 症状がある場合はかかりつけ医に電話し相談するようにになるが、高齢者や基礎疾患を持つ家族がいる方は状況を確認し、必要に応じて受診するよう案内する。無症状だが感染が心配される方へのPCR検査は、有効性に疑問があることや、症状のある方を優先する意味から実施しない。



新型コロナ 相談・受診方法

Q 市民協働を進める上で、地域局の機能強化を

A 予算の面で厳しいが、対応を考える

問 市は、地域課題解決に向けた住民と行政の協働による地域づくり体制を確立することを目指し、公民館の地区交流センター化に取り組んでいる。現場の最前線で、市民協働の要となる地域局の役割は。

答 住民との対話を通じ地区交流センター化への理解を深め、住民主体で課題解決を目指す自主運営組織の形成支援に取り組んでいる。

問 市民協働のまちづくりを進めていく上で、地域のことは地域でできるよう行政機能を強化し、地域局が予算と権限を持ち合わせることが必要だ。権限がないことで地域の独自性が失われ、全市民的な事業でなければ予算がつかず切り捨てられている。地域を平準化することが、市長の考える「均衡ある発展」だったのか。

答 予算の面で厳しいが、叱咤激励と受け止めて対応を考えていく。

問 地域要望の多い、身近な生活インフラの更新について

答 市が管理する1249橋を対象に長寿命化計画を策定し、今後50年で53億円の事業費を見込んでいく。幹線市道は5年で調査し、舗装修繕計画を策定する。

問 対象となる市道500kmは、総延長の4分の1弱だ。残りの道路修繕はどう対応していくのか。

答 生活道路は、これまで通り地域局からの要望を踏まえ予算に合わせ補修をしていきたい。

奥山豊和 議員
おくやま とよかず





高橋聖悟 議員
たかはし せいいち



Q 災害時の避難行動支援にLINEの活用を

A 可能性を探る

問 災害時の避難行動支援にLINEを生かしたらどうか。

答 情報伝達手段や個人の属性に即した情報提供、双方向での情報共有など活用できる可能性があると考えている。

問 市民サービスの向上や、新型コロナウイルス対策を教訓とした新常態の図書館づくりに、電子図書館の導入を検討すべきと思うがどうか。

答 メリットやニーズはあると思うが課題もあり、導入は考えていない。

問 若者の雇用のためにローカル5G環境を整え、サテライトオフィスの誘致をしようか。

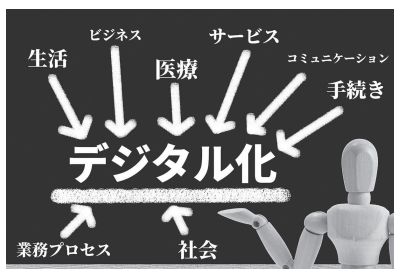
答 ローカル5G環境の整備は、企業誘致活動において優位性を持つこととなり、そういった視点も有効であると認識している。地元就職を望む若者はもちろんのこと、市外在住者も含め多くの皆さんに

横手市を選んでいただけると、多様な就業の場の確保に向け、誘致活動をしていく。

問 新たな市のPR戦略として、ゲームソフトの「あつ森」を活用してはどうか。

答 ユーザー数、発信力に着目すると、仮想空間の利活用で新たなPR手法としての存在感を強めていく可能性を感じる。オンラインでのPRについて研究していく。

■その他の質問
・コロナ禍における学校教育でのタブレット端末導入について



横手市政もデジタルトランスフォーメーションを



鈴木勝雄 議員
すずき かつお



Q スマート農業への今後の支援策は

A 導入支援で普及が進むものと期待する

問 農業用ドローンは現場などで数多く見られるようになった。当市での現状と対策は。

答 ドローン導入支援により今年度まで72台が導入され、ICT技術の導入についても実験・実証を行っている。GPS自動走行システムを活用したトラクター等の導入を検討する法人もあり、作業の省力化・効率化に向け、取り組みが進んでいくものと考えている。

問 JAとの園芸協定締結後、重点作物の拡大・継続に対する支援策として、協定を前進させるための補助金を検討できないか。

答 農地フル活用や堆肥センターを活用した土づくりへの支援などを継続して園芸作物に取り組めるよう引き続きサポートしていく。

問 水田活用緊急対策事業のかさ上げは市の単独事業だ。転作物への助成かさ上げを。



スマート農業導入の支援により農作業の省力化・効率化の推進を

答 交付単価は現状維持が前提だが、産地交付金が減少した場合に農業者が不利とならないよう支援していくことを検討する。

問 県、農業委員会、JAと連携し、新規就農者の営農定着に向け、国がコロナ禍の経営継続への支援として機械・設備への導入の際に行う、経営継続補助金への協賛を調成を検討できないか。

答 国の事業の補助率が市の既存の事業と比較して非常に高く、検討の結果、今回は市での協賛調成には至らなかった。

必要だと考えている

Q インターンシップ参加学生への助成復活を

青山 豊 議員
あおやま ゆたか

問 インターンシップ促進支援事業について、昨年度までの実績を踏まえた検証状況と、今年度の進捗状況、来年度以降の方向性は。

答 市内企業のインターンシップに参加した大学生に対して、経費を上限2万円の範囲内で助成した。今年度は「インターンシップコーディネート活用事業補助金」を実施しているが、新型コロナウイルスの影響等により、成果が出ていない。来年度以降は、市内企業が魅力あるインターンシップを行えるよう後押ししつつ、参加が少ない県外の大学生でも参加しやすい環境を支援していきたい。

問 学生に対する助成を、今年度やめてしまったのは残念。中央の大手企業と対等な条件にするためにも復活は必須だ。

答 必要だと考えている。次期計画の中でコーディネート活用事業



明海大学との意見交換
学生の本音を事業に生かすことが重要

補助金との両輪として、学生への直接的な支援策を考えていきたい。

問 この事業をより良いものにするためには「学生の本音」をもっと聞くことが重要だ。双方向のコミュニケーションツールを検討したらどうか。

答 貴重な提案だ。学生とのつながりは大事なので、考えうる全ての方法を駆使し、官民一体となつて取り組む。

■その他の質問
・インドネシア共和国との交流事業について

議場へようこそ

植田小学校6年生の皆さん

12月8日(火)、市議会の仕組みや活動内容を知ることなどを目的に、市議会一般質問の傍聴にいらっしやいました。

植田小学校では、今後、この経験を生かして横手市活性化プランを作成するとのことでした。



傍聴する前に、議会の仕組みなどについて説明を受けました。

この経験を、横手市活性化プランの作成に生かしていきたいと思います。

予算とかの大きな問題だけじゃなく、雪のこととかも話しているんだって驚きました。僕にも何ができるか考えていきたいです。

難しい内容はわかり話していると思っただけで、身近な話題について質問されては、大変なと思いました。



担当の課のこんな感じの説明が、僕らにもわかるんだって、不思議に思いました。

廃校の備品についての質問は、自分たちの学校にも関係する質問だったので興味深かったです。

植田小学校の皆さんが一般質問を傍聴した模様は、1月25日放送の横手かまくらFM「もっと教えて！横手市議会」でもご紹介いたします。ぜひお聴きください。





大雄

田根森地区会議議長 松下 さん

テーマについてみんなで掘り下げて意見交換できたことがよかった。市議会には、少子高齢化対策についてもっと取り組んでほしいですね。

たくさんの人からいろいろな意見が出たので、地区会議としても参考になる会だった。年1回ではなく、たくさん意見交換できる機会をつくってほしい。

十文字

十文字地区会議議長 前田 さん

山内

山内西地区会議議長 樋渡 さん

この地域の住民にとって、高齢者の足の確保は深刻な課題。この課題について議会でも議論してもらい、ぜひ地域公共交通を実現してほしい。

グループで話した内容の発表もあるので、みんなの意見が聞けるところがいい。若い人にも参加してもらって活発な意見交換ができるといい。

平鹿

醍醐地区会議議長 伊藤 さん

温泉施設の民間譲渡の対応は場当たりの！住民への説明も不十分！

地域公共交通にサブスクリプション(会費制)を導入できないかな。

山内

10月17日(土) 山内西地区

夜間の通学路が暗くてちょっと不安…

地域の中学生も参加！

テレワークなら、地元についても仕事しやすくなるね。

平鹿

10月23日(金) 吉田地区

空き家対策をしてもらわないと安心して暮らせないよ。

大型公共施設の建設はもっと慎重に考えるべきでは？

雄物川

10月22日(木) 里見地区

防災ラジオを全戸配布しては？それだけでなく、ほかの情報伝達手段の検討も必要！

最終的には住民の防災意識を高めることが重要だね。

横手

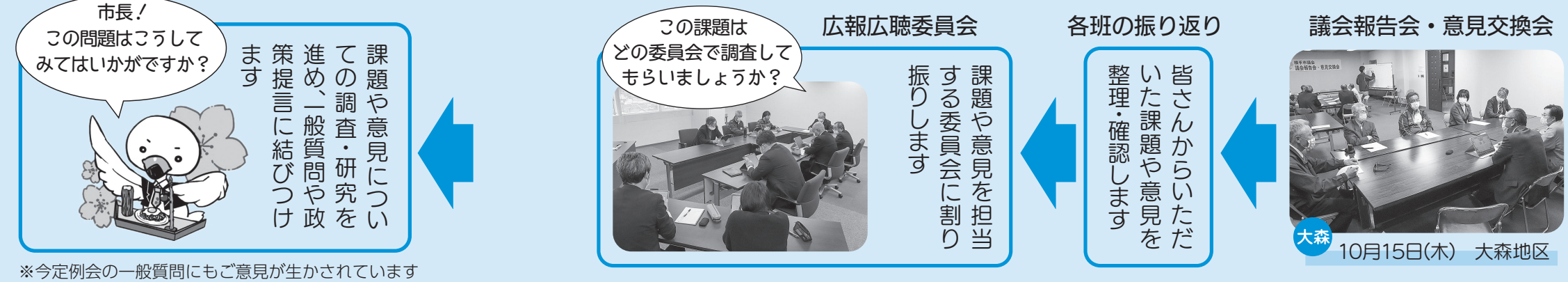
10月12日(月) 金沢地区

10月8日(木)から23日(金)にわたり、地区会議との共催による第9回議会報告会・意見交換会が行われました。

第1部の議会報告会では、3つの常任委員会の研究課題やテーマについて状況を報告し、第2部では、少人数のグループに分かれて意見交換会を行いました。

参加者の皆さんからは、地域課題などについて貴重なご意見をお聴きすることができました。

皆さんからお聴きしたご意見は、今後このように生かしていきます！



横手市観光推進機構×産業建設常任委員会

11月11日(水)、(一社)横手市観光推進機構(DMO)との懇談会を開催しました。

昨年に引き続き行われたこの会では、DMOで実施した事業内容について報告を受けたあと、今後の事業展望などについて意見交換を行いました。



市の担当部局とは月に1~2回打合せをして、情報共有するようにしています。

DMOでは、誘客、物産、フィルムコミッションなどの事業を行っているんですよ。

観光庁の登録DMOとして認定されるよう、準備を進めています。

DMO設立から3年経ちました。今後の見込みはどうですか？

横手市観光推進機構事務局 滝澤さん

市民と議会 の懇談会



身近でありながらなかなか自分事として捉えられていなかった「地域防災」について、議員の皆さんと話し合う機会をいただき、大変勉強になる懇談会でした。

横手青年会議所副理事長 子野日さん

横手青年会議所×総務文教常任委員会

この場面に なったら、僕だったらこうするけどな。

でも、こうしたらこんなメリットがあるよね。

企業の社会貢献活動として取り組んでいければいいね。

いざという時のためにも、日ごろから地域のつながりを持っておくことって、重要だね。

10月24日(土)、(一社)横手青年会議所との懇談会を開催しました。

この会では、市の防災対策について学んだあと、「防災クロスロード」という手法を用いて、災害時の対応を各グループで話し合いました。



主な

議会の動き



10月

- 7日 FM番組収録
- 8日 議会報告会・意見交換会(～23日)【P14～15】、議会だより表紙写真撮影

規模を縮小して開催された十文字第一小学校のミニ運動会。ミニであってもはつらつとした大きな笑顔があふれていました。



撮影：大日向香輝議員

- 12日 FM番組収録
- 13日 全員協議会、総務文教常任委員会協議会、タブレット端末操作研修会
- 15日 FM番組収録
- 17日 FM番組収録
- 20日 総務文教常任委員会所管事務調査、総務文教常任委員会協議会、FM番組収録
- 22日 FM番組収録
- 23日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、産業建設常任委員会協議会
- 24日 市民と議会の懇談会【P14～15】
- 26日 FM番組収録
- 28日 市議会10月臨時議会【P4】、全員協議会(行政課題説明会)
- 29日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会(秋田市)

11月

- 4日 議会改革推進会議
- 6日 総務文教常任委員会所管事務調査
- 11日 産業建設常任委員会協議会、市民と議会の懇談会【P14～15】
- 16日 FM番組収録
- 19日 Y8サミット創快横手市議会【P2～3】、秋田市市議会議長会臨時会(秋田市)
- 20日 議会改革推進会議、産業建設常任委員会協議会新過疎法制定実現総決起大会定期総会(東京都)
- 24日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会) 広報広聴委員会広報分科会
- 26日 広報広聴委員会広聴分科会
- 27日 総務文教常任委員会所管事務調査
- 30日 市議会12月定例議会(～12月16日)【P4～13】 議会改革推進会議

12月

- 4日 広報広聴委員会広報分科会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 ICTプロジェクトチーム会議
- 12日 議会だより表紙写真撮影
- 14日 正副委員長会議、議会運営委員会 全員協議会(議案説明会、行政課題説明会) 十文字小学校建設現場視察



4月開校予定の十文字小学校を視察しました。

- 15日 広報広聴委員会広報分科会、議会改革推進会議
- 21日 広報広聴委員会広報分科会
- 22日 FM番組収録
- 23日 広報広聴委員会広報分科会、FM番組収録
- 24日 総務文教常任委員会協議会、FM番組収録



来年度の学校統合により閉校となる十文字地域4つの小学校をシリーズでご紹介します

私たちの十文字第一小学校は、十文字町の中心部にあります。近くには十文字地域局や道の駅十文字があり、多くの方が行きかう場所です。そして、地域の方々は、私たちを温かく見守ってくださっています。

一小的子どもたちは、学習にも遊びにも元気いっぱいです。休み時間には、違う学年同士で遊ぶこともあります。学習では、積極的に手をあげて発言する人が多く、話し合いを通して考えを深めるようにしています。そして、一小的のスクールバンド部やバトン部は、40年以上の歴史のある部活動です。

今年度、私たちが一番がんばったのは学習発表会です。一小的最後の高学年児童として、最後を飾る発表ができました。

これから閉校までの2カ月間は、高学年児童としての自覚をもち、中学校を意識した生活や行動を取り入れていきたいです。そして、「自分が一小的で勉強できてよかった」と思えるようにがんばっていきます。



十文字第一小学校 計画委員会の皆さん

編集後記

あけましておめでとうございます。横手市議会では、議会を市民の皆さんに身近に感じていただけるよう、さまざまな活動をしています。「議会報告会」や「市民と議会の懇談会」、「Y8サミット」などを開催しています。さらには小学生の議会傍聴なども、積極的に受け入れております。今月号にはそのすべてが掲載されておりますのでご覧ください。(加藤 勝義)

◆広報広聴委員会広報分科会

分科会長 奥山 豊和 副分科会長 大日向香輝
委員 青山 豊 土田百合子 加藤 勝義
遠藤 忠裕 菅原竜代嗣

横手かまくらFM 77.4MHz もっと教えて! 横手市議会

好評放送中

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



1月11日は、横手市医師会西成会長と播磨議長の新春対談を放送しました。放送内容はこちらからお聴きいただけます。



横手市議会公式 Facebook いいね!してね(♡)